

第 2 回 北陸オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会  
(HoSAiT)

海堂尊氏の著書「チーム・バチスタ」以降、一般にも知られるようになってきた Ai(死亡時画像診断: Autopsy imaging)にはその法的根拠も与えられています。また、来年(令和 2 年 4 月 1 日)には「死因究明等推進基本法(令和元年法律第 33 号)」もいよいよ施行されます。

こういった法整備の進む環境の中、実際の撮影にあたる診療放射線技師の知っておくべき Ai 撮影にかかわる法体系、撮影時の注意すべき点や具備すべき要件、撮影された画像から経過時間や周辺環境状況に拠る死後変化への理解等々、学ぶべきことが非常に多く、多岐にわたっています。

これらのことを踏まえ、第一部テーマ講演では撮影のガイドライン紹介。第二部では会員施設からの症例提示も予定しており、多くの知見が得られるものと期待しております。

ぜひ一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日時:令和元年(2019 年) 12 月 12 日 19 時 ~ 20 時 30 分

場所:福井大学医学部附属病院 臨床研修センター2 階 白翁会ホール

参加(会場)費: 500 円

司会 福島祐平(高村病院 放射線部)

開会挨拶 代表幹事 江端清和(福井大学医学部附属病院 放射線部)

第一部 テーマ講演

座長 村中良之(福井県立病院 放射線室)

演題1「Ai\_CT 撮影法の施設間比較。ガイドライン紹介を含めて」

高橋政史(福井総合病院 放射線課)

演題2「Ai\_CT 撮影費用に関する茨城 Ai 研究会からの情報提供」

小林鉄也(福井済生会病院 放射線技術部)

第二部 症例報告

座長 福島祐平(高村病院 放射線部)

症例報告 当院で経験した Ai 症例

水元康貴(大滝病院 放射線部)

以上

◎問い合わせ先 北陸オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会

事務局:福井大学医学部附属病院 放射線部 江端清和

e-mail : hokuriku.ai.ken@gmail.com